

うさぎとかめの通信

上越市立高田幼稚園

(園長室だより) 108周年
令和6年4月25日 第193号

HPのQRコード→



「思い→体験→表現」は、幼児、児童、生徒に一貫する遊び学びの基本！

☆令和6年度が 明るく元気よくスタートしました。☆



園庭の桜の花が満開に咲き、そして、今は桜の新芽が芽吹いています。そして、新3歳児5名を迎え、高田幼稚園の園舎や園庭には、輝く笑顔と元気な声が響いています。今年度は、年少のもも組5名、年中のうめ組10名、年中のまつ組7名の全園児22名、職員11名でスタートしました。今年度もよろしくお願いたします。

高田幼稚園の重点目標は、「友達とかかわりながら、自発的、主体的に遊びや活動に取り組む子供」です。子供たちにとって遊びは学びです。園では、与えられた遊びではなく、自分から夢中になって遊ぶことを大切にしています。主体的に遊ぶからこそ、夢中になって没頭し自分で考えたり工夫したりします。そして、もっと楽しくなりたい、もっと楽しくしようと、ものや人とかかわりが豊かになります。いろいろなことを取り入れたり工夫したり、そして友達と協力してやり遂げる遊びに発展します。



今年度も高田幼稚園では、主体的に遊びに取り組む子どもを育てていきます。

【幼小接続の架け橋プログラムを推進します】

義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間は、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるためにきわめて重要な時期です。この2年間は文科省では「架け橋期」としています。

高田幼稚園では、幼児教育の質の維持・向上を目指し、主体的な遊びを中心とした生活の中で、体験を通して学ぶという幼児教育の本質を踏まえ、指導内容や方法等の改善を図っています。その幼児教育で培われた力を小学校につないでいく接続の取組が、「架け橋プログラム」です。高田幼稚園では、今年度、大手町小学校と一緒に「架け橋プログラム」の推進に取り組みます。子供たちの交流はもちろんのこと、幼稚園と小学校の先生方が、互いの授業や保育を参観し、それぞれの活動について振り返ったり情報交換したりして、それぞれの学びや活動に生かしていきます。

【高田公園のクリーン活動に参加しました】

4月19日、スターバックスコーヒーの主催の高田公園のクリーン活動に、高田幼稚園の子供たちも参加しました。保護者の方にも声を掛け、ご都合のつく方からも参加していただきました。

花見が終わりお店もなくなり、いつもの高田公園に戻ったように思えましたが、よく見ると、桜の花びらに混じって、紙コップやお菓子の袋などのゴミが落ちています。大人よりも小さな子供たちがの方が、様々なところに隠れているゴミを見つけられます。「あったよ!」と走って拾ってきてくれます。クリーン作戦の終わりには、「こんなにあったのか!」と驚くくらい、ゴミが入った袋がたくさん集まりました。

高田幼稚園の子供たちの散歩コースになっている高田公園。たくさん遊んでいる公園をみんなできれいにして、心もすっきり、また気持ちよく遊べますね。このクリーン作戦を通して、いつも遊んでいる高田公園への親しみが一層増し、もっと大好きになったように思います。また、スターバックスの方や地域の方とも一緒に行くことで、地域の人とのつながりを感じることができました。子供たちにとっては、価値ある体験になりました。



【令和6年度 子供の読書活動優秀実践園 文部科学大臣表彰 受賞!】

高田幼稚園の読書活動が認められ、4月23日の読書活動推進フォーラムで表彰されました。この表彰は、高田幼稚園の活動だけではなく、ボランティアの皆様からの毎月の読み聞かせや毎週末での保護者の皆様からの読み聞かせ等のご協力の賜です。感謝申し上げます。

フォーラムの特別講演では、「読書のすすめ」をテーマに作家の喜多川泰さんのお話をお聞きしました。本は、作家が「最良のものをあなたに」という思いで書いているそうです。喜多川さんにとって、その本を完成させるためにかかった時間は、生まれてからの時間そのもので、今までの経験等があってこそその作品だそうです。本にはそのような生き方や価値観が書かれています。自分の生き方を考える志をもった子供に育てていくためには、本は欠かせないと思いました。

喜多川さんは、「読書は心のお風呂『1日1%で、人生は100%変わる』』」といっています。ほぼ毎日お風呂に入って体をきれいにするように、心のお風呂の時間を作りましょう。1日1%（15分）の時間を作って、読書の習慣をつくりましょう。

